

第2学年2組 生活科 学習指導案

単元名：しりたい 行きたい みんなの図書かん

「みんなであつかうまちのしせつ」

男子12名 女子13名 計25名

指導者 田村 瞳

単元について

○単元観

本単元は、小学校学習指導要領解説生活編の内容（４）「公共物や公共施設を利用し、身の回りにはみんなで使うものがあることやそれを支えている人々がいることなどが分かり、それらを大切にし、安全に気を付けて正しく利用することができるようにする。」を受けて設定したものである。

ここでは、学校外の方も利用する施設である地域の図書館に行って調べたり、実際に本を借りたり返したりする中で、みんなで使うものを大切にできるようにし、公共施設での誰もが気持ちよく使える利用の仕方を考え、正しく利用ができるようにすることをねらいとしている。また、児童館や福祉センターと違い、図書館は小さい子どもからお年寄りの方まで幅広い方が利用する場であるため、誰もが利用しやすいように様々な工夫がされている。その工夫について考えることを通して、みんなが利用しやすくなるよう工夫し支えている人々の存在に気付くとともに、繰り返し利用する中で、親しみや愛着をもち、ものを大切に正しく利用しようとする意識を高めることができると考え、本単元を設定した。

○児童観

本学級の児童は、第1学年の生活科で春と冬の2回、学校の周りや公園で、遊ぶ活動を行っている。公園の遊具や自然を生かしてみんなで遊ぶ体験を通して、ルールを守ることの大切さに体験的に気付くことができた。児童館や公民館は多くの児童が利用した経験があるが、公共の意識は低く利用の仕方に課題がある。海田町立図書館は校区外の施設ということもあり、利用したことのある児童は48%で、図書館の様子や、利用者の様子を知っている児童は少ない。

また、「授業では、友達と話し合うなどして、自分の考えを進んで伝えている」の項目が76%という結果で、自分の考えをもち伝えることに課題がある。1学期に行った「1年生をむかえよう」の学習で、1年生に学校の中を説明しながら案内する活動を行った。その際、自分の言葉で説明できない児童が16%おり、その他にもその部屋にあるものの情報一つしか伝えられない児童も多く見られ、考えたことや分かったことを自分の言葉で相手に伝えることに難しさを感じる。

○指導観

町の施設である海田町立図書館を正しく使えるようになるためには、図書館で見つけたひみつと、利用者の使いやすさを関連付けながら図書館で働く人の工夫に気付き、利用の仕方について考えていく必要がある。

導入の場面では、町の施設の写真を見せながら身近にある施設に気付かせ、自分がどのように利用しているか振り返ることができるようにする。そして、図書館、図書室それぞれでできることをベン図を使って比べ、視覚的に違いが分かるようにする。違いを考えることで、施設は自分達だけでなく小さい子どもからお年寄りの方まで様々な人が利用する場であることをおさえ、見学への意欲を高める。

整理・分析の場面では、図書館で見つけたひみつについて、なぜ図書館にはたくさんのひみつがあ

るのかを、イメージマップを使い1つ1つのひみつのよさを考えながら整理させていく。個人で思考する時間を確保し自分の考えをもたせた後、本学級の課題である考えを伝え合う活動を行う。ペアで確かめ合い、相手の考えを聞いて深め自分の考えに自信をもたせてから全体で交流する。そして、それぞれの理由に共通する「利用者が気持ちよく利用するために」という図書館の人の思いに気付かせたい。また、2回目の見学では、利用者のことを思い支えてくれている図書館の人達の工夫に着目して調べ、働く人にインタビューさせてもらうことで、図書館に親しみや愛着をもたせていきたい。海田町立図書館は身近な施設である。しかし校区外の施設であるため、保護者と一緒に行かなければならない。そのため、学んだことを保護者に伝えるよう設定し、学習後も学んだことを保護者と一緒に活用していけるようにする。

単元の目標

- 図書館に興味や疑問をもち、見たり聞いたりして、図書館で働く人の工夫やきまりを見付けようとする。 【関心・意欲・態度】
- 図書館探検を通して、だれもが利用しやすくなるように、働く人の様々な工夫がされていることが分かるとともに、そのことを理由を明らかにしながら考えをまとめることができる。 【活動や体験についての思考・表現】
- 身の回りにはみんなで使うものや、それらを支えている人々がいることが分かり、安全に正しく利用しようという気持ちをもつことができる。 【身近な環境や自分についての気付き】

単元の評価規準

生活への関心・意欲・態度	活動や体験についての思考・表現	身近な環境や自分についての気付き
きまりを守って本を借りたり返したりしながら、図書館に興味や疑問をもち、だれもが利用しやすくなる図書館で働く人の工夫やきまりを見付けようとしている。	図書館を見学し、見付けたこと、インタビューして分かったことから図書館で働く人の工夫について考えている。	身の回りのみんなで使うものや、それらを支えている人々の存在が分かり、みんなが利用する施設に親しみや愛着をもつことで、安全に正しく利用することの大切さに気付いている。

単元で育成したい資質・能力

	A	B
【主体性】	・町の公共施設を安全に正しく利用できるようになるために、自主的に見たり聞いたりして情報を集め、図書館の人の工夫を見付けようとしている。	・町の公共施設を安全に正しく利用できるようになるために、必要な情報を集め、図書館の人の工夫を見付けようとしている。
【思考力】	・図書館を見学して見付けたひみつと利用者の使いやすさを関連付けながら、図書館で働く人の工夫や利用の仕方、そのよさを考えている。 ・図書館探検を振り返り、図書館で働く人の工夫をその理由を明らかにし、自分の体験と結び付けながら図書館のひみつをまとめている。	・図書館を見学して見付けたひみつと利用者の使いやすさを関連付けながら、図書館で働く人の工夫や利用の仕方を考えている。 ・図書館探検を振り返り、図書館で働く人の工夫を、その理由を明らかにしながら図書館のひみつをまとめている。
【自己理解】	・身の回りのみんなで使うものや、それらを支えている人の存在が分かり、図書館や町の公共施設を安全に正しく利用することの大切さに気づき、これからの生活に生かそうとしている。	・身の回りのみんなで使うものや、それらを支えている人の存在が分かり、安全に正しく利用することの大切さに気付いている。

指導と評価の計画

全 11 時間

次	時	学習内容	評 価				
			関	思	気	評価規準	評価方法
一	1	課題の設定（1） ○図書館に興味をもたせながら、学習の見通しを立てる。 ・海田町のいろいろな公共施設の写真を見てどういふところか話し合う。 ・図書館と図書室の写真を比べながら、図書館と図書室の違いを考える。 ・図書館探検に行き、図書館について調べたことを図書館キラキラカードにまとめ伝えるという学習課題を立てる。 ・ゴールの見通しをもち、学習計画を立て、単元で付けた力について考える。	○			・図書室と図書館の違いを考えながら、図書館で働く人の工夫を見付け、図書館キラキラカードにまとめて伝えるという学習課題に向けて見通しと意欲をもって取り組もうとしている。	発言 行動観察
	2	情報の収集 I（2） ○図書館探検の計画を立てる。 ・国語科で4月に行った、「としょかんへ行こう」を想起させながら、図書館を利用する時の約束を確認する。	○			・相手や場に応じた適切な行動や、安全な行動について考えながら、探検の計画を立てている。	発言 行動観察
	3	○図書館探検に行く。 ・図書館に行き見付けたひみつや、図書室と違うところについてメモをする。 ・教わったルールやマナーを守って、自分の読みたい本を探し、借りる。	○			・相手や場に応じた適切な行動や、安全な行動について考えながら、ルールやマナーを守って探検している。	発言 行動観察 ワークシート

次	時	学習内容	評 価				
			関	思	気	評価規準	評価方法
二	4	整理・分析Ⅰ（３） ○見つけたひみつについて交流する。 ・図書館にあったものや、図書館について分かったことを伝え合う。	○			・探検で見つけたひみつを友達と伝え合っている。	発言 行動観察 ワークシート
	5	○図書館探検で見つけたひみつのよさを考える。 ・図書館を見学して見つけたひみつと利用者の使いやすさを関連付けながら、イメージマップを使いひみつのよさを考える。 ・表の中で分からなかったところや、もっと知りたいことを基に、インタビューしたいことを考える。 【本時】		○		・図書館を見学して見つけたひみつと利用者の使いやすさを関連付けながら、ひみつのよさを考えている。	発言 行動観察 ワークシート
	6	○インタビューする内容を決め、練習する。 ・２回目の探検に向けて、前時で考えたことを基に、見ただけでは分からなかった働いている人が考えている工夫について、必要な情報を取捨選択し、インタビューの内容を決める。 ・正しい言葉遣いを考えながら、インタビューの練習をする。		○		・相手意識をもち、正しい言葉遣いでインタビューの練習をしている。	発言 行動観察
	7	情報の収集Ⅱ（１） ○図書館探検に行く。 ・図書館に行き、知りたいことをインタビューする。 ・他の利用者や働く人の様子にも着目しながら、ルールを守って本の返却をする。	○			・相手や場に応じた適切な行動や、安全な行動について考えながら、ルールやマナーを守って探検している。	発言 行動観察 ワークシート
	8	整理・分析Ⅱ（１） ○だれもが気持ちよく利用するために図書館で働く人がしている工夫について考える。 ・インタビューして分かったことを基に、図書館で働く人が考え行っている、だれもが気持ちよく利用するための工夫について交流し、整理する。		○		・探検で見つけたことや、インタビューで分かったことから、働く人がしている工夫を友だちと伝え合い、整理している。	発言 行動観察 ワークシート
	9 ・ 10	まとめ・創造・表現（２） ○図書館について分かったことを図書館キラキラカードにまとめる。 ・分かったことの中から家の人に伝えたいきまりや図書館で働く人の工夫を選び、工夫とその理由を図書館キラキラカードにまとめる。		○		・探検を通して分かった、誰もが気持ちよく利用するための、図書館で働く人の工夫の中から、自分の伝えたいことを選び、図書館キラキラカードにまとめている。	発言 行動観察 図書館キラキラカード
		常時活動 ○家の人に図書館キラキラカードを読んでもらい感想をもらう。					

次	時	学習内容	評価				
			関	思	気	評価規準	評価方法
		国語科の時間 「言いつたえられているお話を知ろう」 ○神話や伝承の本を読んでおすすめ紹介カードを作る。 ・図書館探検で学んだことを生かして、相手を読みたくなるよう工夫しながら紹介カードを作り、図書室や学年掲示板に掲示する。					
三	11	振り返り（１） 学びのモニタリング ○自らの学びや学び方を振り返る。 ・これまでに学習したことを振り返り、みんなが利用する施設に親しみや愛着をもった自分に気づき、これからもルールを守って利用していきたいという思いをもつ。			○	・身の回りのみんな で使うものや、それ らを支えている人 の存在が分かり、親 しみや愛着をもつ た自分に気付いて いる。	発言 行動観察 ワークシート

本時の学習

（１）本時の目標

- 図書館を見学して見つけたひみつと利用者の使いやすさを関連付けながら、ひみつのよさを考えることができる。

（２）本時の評価規準

- 見つけたひみつと利用者の使いやすさとを関連付けて、図書館にあるひみつのよさについて考えている。

【活動や体験についての思考・表現】

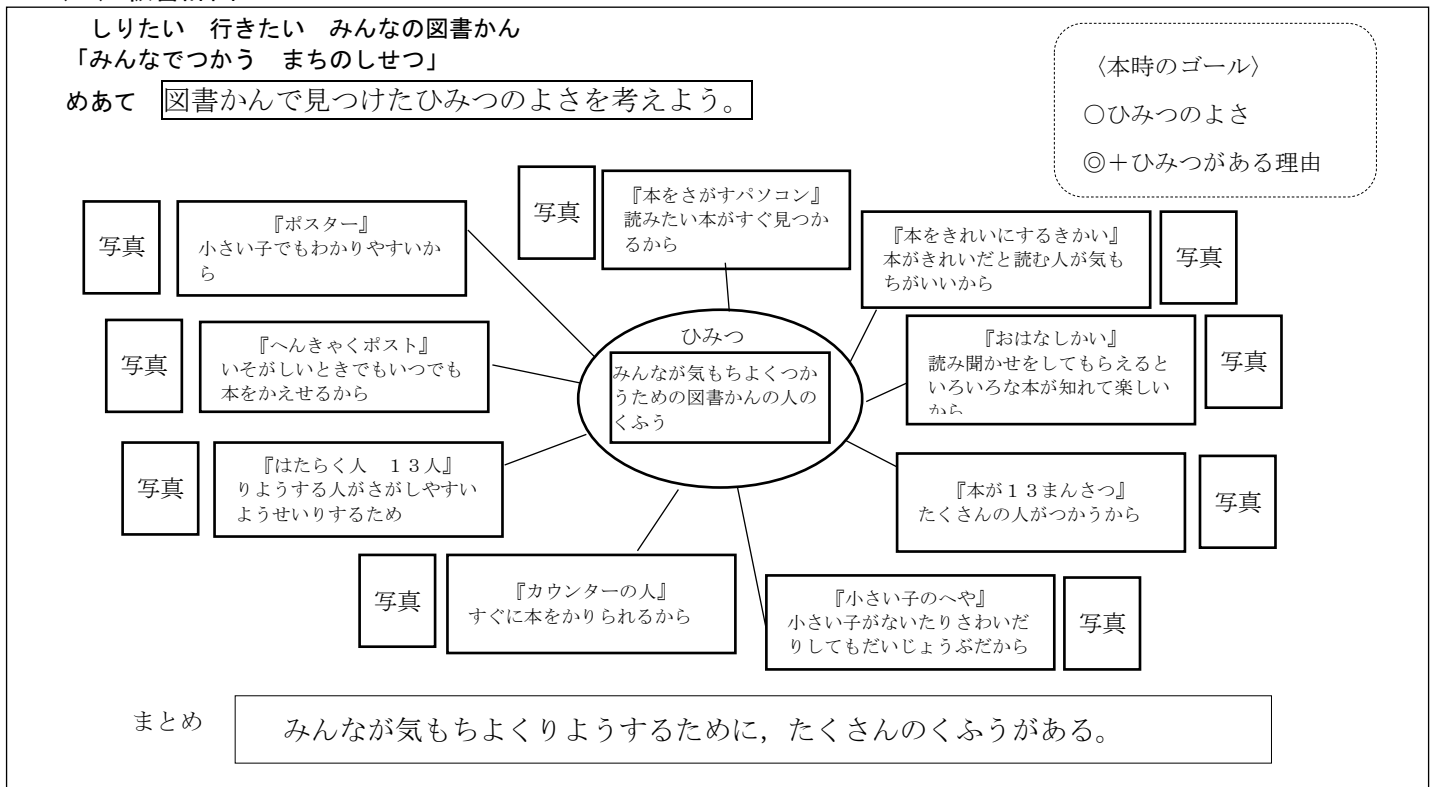
（３）本時の学習展開（５時間目／全 11 時間）

学習活動 ○主な発問 ・予想される児童の反応 □思考の場の工夫	◇指導上の留意事項 ★めざす児童の姿 ◆「努力を要する」状況と判断した 児童への指導の手立て	評価規準〔観点〕 (評価方法) ◎本時で付けたい力
1 前時までの学習を振り返る。 ○図書館探検に行き見つけた違いは何ですか。 ・本がどこにあるかを調べるパソコンがあったよ。 ・本をきれいにする機械があったよ。 ・いろいろなところにひまわりが隠れていて、宝探しみたいだったよ。 ・倉庫があってその中にも本がたくさんあったよ。	◇写真を見返しながら探検に行った活動を想起させる。 ◇図書室との違いを思い出させながら、図書館は小さい子どもからお年寄りの人まで多くの人利用する場所であることをおさえる。	
2 本時の学習課題を確認する。 めあて	図書かんで見つけたひみつのよさを考えよう。	

<p>学習活動</p> <p>○主な発問</p> <p>・予想される児童の反応</p> <p>□思考の場の工夫</p>	<p>◇指導上の留意事項</p> <p>★めざす児童の姿</p> <p>◆「努力を要する」状況と判断した児童への指導の手立て</p>	<p>評価規準〔観点〕</p> <p>(評価方法)</p> <p>◎本時で付けたい力</p>
<p>本時のゴールの見通し</p>		
<p>A：見付けたひみつと利用者の使いやすさを関連付けながら、ひみつのよさとその理由を考えている。</p> <p>B：見付けたひみつと利用者の使いやすさを関連付けながらひみつのよさを考えている。</p>		
<p>3 図書館で見付けたひみつのよさを予想する。</p> <p>○みんなが見付けたひみつは、何のために図書館にあるのでしょうか。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>□思考の場の工夫 関連付ける</p> <p>図書館で見付けたひみつと利用者の使いやすさを関連付けて、ひみつのよさを考える。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・本を探すパソコンはたくさんの本の中から読みたい本がすぐに見つけられるから便利だね。 ・本をきれいにする機械は、いろいろな人が読む本だから、読みたい本がきれいだと気持ちがいいね。 <p>4 見付けたひみつのよさについて話し合う。</p> <p>○見付けたひみつは何のためにあるのか、考えたことを交流しましょう。</p> <p>○見付けたひみつは何のためにあるのか、考えたことを発表しましょう。</p> <p>5 よさを考えた中で、分からなかったことや疑問に思ったことをまとめる。</p> <p>○分からなかったことや、もっと詳しく知りたいことは何ですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どうして倉庫にしまっている本があるのかな。 ・図書館の人は他にどんな仕事をしているのか聞いてみたいな。 ・どうしてすぐに借りられているかどうか分かるのかな。 	<p>◇自分が利用する時のことを想像しながら、ひみつのよさをイメージマップに整理させる。</p> <p>◇物に関するひみつは青枠、人に関するひみつは赤枠で色分けをし、区別できるようにする。</p> <p>◆よさを考えにくい児童は、自分が利用するなら「あるとうれしい」か「あってもうれしくない」かを基に、なぜうれしいかを考えるよう声かけをする。</p> <p>◇ひみつのよさが分からないところは、「？」を入れ、インタビュー内容を考える時に役立てさせる。</p> <p>◇自分の考えたよさをペアで伝え合い、その後全体で共有させる。</p> <p>◇見付けたひみつは、物に関するひみつも人に関するひみつも、利用者を使いやすいよう図書館の人がしてくれている工夫であることを押さえる。</p> <p>◇自分達も利用者であることを確認し、自分達のための工夫でもあることを押さえる。</p> <p>◇イメージマップに整理したことを基に、分からなかったところや、もっと詳しく知りたいところに注目して質問を考えさせる。</p>	<p>◎見付けたひみつと利用者の使いやすさを関連付けて、ひみつのよさについて考えている。</p> <p>〔活動や体験についての思考・表現〕</p> <p>(発言・行動観察・ワークシート)</p>

学習活動 ○主な発問 ・予想される児童の反応 □思考の場の工夫	◇指導上の留意事項 ★めざす児童の姿 ◆「努力を要する」状況と判断した児童への指導の手立て	評価規準〔観点〕 (評価方法) ◎本時で付けたい力
6 本時の振り返りをする。	◇本時の学習を通して、分かったことや考えたことについて振り返りさせる。	
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>★めざす児童の姿</p> <p>私は、使う人が気持ちよく使えるように図書館の人がいろいろ工夫してくれていると気付きました。私は、次はどうしてすぐに借りられているか分かるのかを知りたいと思いました。</p> </div>		

(4) 板書計画



しりたい 行きたい みんなの図書かん
「みんなでつかう まちのしせつ」

二年 くみ ばん ()

① 図書かんをたんけんして、すすんで図書かんについてしらべる
ことができた。

4 とても まあまあ あまり まったく
3
2
1

② だれもが気もちよくくりようができるよう図書かんではたらく人が
しているくふうを考えることができた。

4 とても まあまあ あまり まったく
3
2
1

③ 図書かんを、きまりをまもってまたりようしてみたいという気
もちをもつことができた。

4 とても まあまあ あまり まったく
3
2
1

べんきようしてわかったこと、思ったことを書きましよう